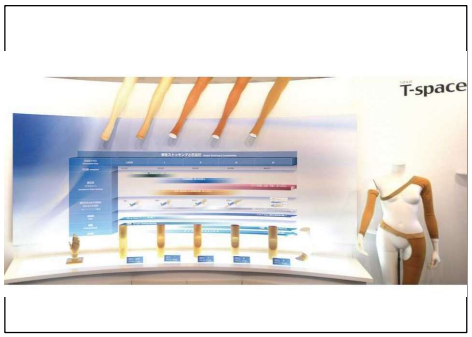
事例 徳島県プロフェッショナル人材戦略拠点

マーケティング　副業・兼業

治療の役割を果たす、医療用弾性ストッキング！統計解析による検定基準の策定支援



■東光株式会社



所在地	徳島県徳島市
設　立	1946年　　従業員数　128人
事業内容	医療用弾性ストッキング・リンパ浮腫治療用弾性衣料・サポーターの製造販売ほか

■活用の背景■

繊維製品は製造工程で寸法のばらつきが生じやすく、不良品の発生やロス率の低減が課題となっていました。
品質の安定化と生産効率の向上を図るため、統計的品質管理の知見を取り入れ、生産工程の改善と統計的判断の内製化ができるよう、副業プロ人材の活用を検討しました。

■プロ人材の役割■

製品データや材料特性の分析を行い、不良品発生の傾向を整理していただきました。
統計的手法を活用した原因分析を進めながら、生産工程の改善に向けた助言や品質管理手法の導入についてアドバイスをいただきました。

■副業者について■

【採用人数】
品質管理　２名

【契約期間】初回 ３ヶ月

【報酬額】月額10万円

【想定労働時間】
期間内に13回のミーティング

【年代とキャリア】
①50代。統計学や計量経済学の知見のある大手メーカーで品質管理を担当
②40代。統計手法を使った品質管理を経験

【業務遂行手段】
リモート・対面

■取組の成果■

これまで経験や勘に頼りがちだった品質管理でしたが、体系的に見直すことができました。
データに基づいて判断する考え方が社内に浸透し、製造工程の課題を客観的に把握できるようになりました。
社員の品質意識も高まり、QC検定の取得を目指すなど人材育成の面でも良い効果が生まれています。

■活用の効果■

品質の安定化に向けた改善の方向性が明確になり、今後の製品開発にも活かせる知見を得ることができました。

【企業の声】
技術経営コンサルタントとも連携しながら助言を受けています。複数の外部専門家の視点を取り入れることで、技術面と経営面の双方から課題を整理できる体制を整えることができました。